

金曜ウォーク@宇部

上関原発はいらない！原発ゼロへ！

2021/07/23 (金) 469 回 since 2012.08.12

資料と意見 No.010 発行：いのち・未来うべ

◎基本から知る上関原発 オンライン学習会

第4回 山秋真さんが『原発をつくらせない人びと』（岩波新書）
をもとに語ります。ゲスト：橋本久男さん

7月24日（土）午後4時～6時 ZOOM

申込み：mottomotookamoto@gmail.comへ。

◎中国電力「当面作業をしません」

田ノ浦の海上で揺れる船上で文書のやり取りがあり、結果、「当面作業をしません」と言って引き上げました。詳しく小中進さんオフィシャルサイトをご覧ください。⇒



◎オンライン署名の呼びかけ 祝島島民の会から

一万人を越えて7月20日にいったん提出。

◎エネルギー基本計画「新增設明記できず」 さらに原発ゼロの実現へ！

~~~~~

## いのち・未来うべ 会員を募集中です

私たちは、原発のない社会を求める市民グループです。2011年3月11日の福島原発過酷事故の1年後、2012年3月18日に宇部市で開催された「小出裕章さんのお話を聴く会」が母体です。ストップ上関原発！地域から声をともにあげましょう。

○金曜ウォーク 毎週金曜日午後6時 宇部市役所前に集合、情報交換とアピール。

連絡先：〒755-0029 山口県宇部市新天町1丁目2-36 宇部市民活動センター「青空」

いのち・未来うべ 電話 080-6331-0960 (安藤公門)

【那須正幹さんが、7月22日に亡くなりました。コロナ禍、通夜も葬儀も参加ができません。追悼の意志を込めて、那須さんとの思い出を共有すべく2017年の岡本さんの祝島同行記の一部を掲載します。】

## 那須さんと行く祝島ツアー体験記 (1)

岡本 正彰

11月18～19日、児童文学作家・上関原発を建てさせない山口県民連絡会共同代表の那須正幹さんと下関、宇部の仲間と4名で、祝島へ行った。私は昨年9月以来、2度目の訪問だった。

室津からの船は快適だったが、四代を過ぎ田ノ浦現地を窓から見ようとした頃から揺れが強くなり、激しくダイビングした。それが続いたので他の観光客のみなさんも声をあげて怖がっていたが、那須さんは「これくらいの揺れじゃ、沈まんよ」というような顔をされていたので、私も安心した。祝島へ着いたら強風が吹いていて、船が大揺れしたことにならずけた。

夜6時半から那須さんの講演会があり、祝島の人たちが多く参加された。那須さんはご自身のベストセラー「ズッコケ三人組」を紹介されながら、脱原発運動に関わるようになり、上関原発を建てさせない山口県民連絡会の共同代表をされるようになった経緯などを話された。

那須さんは広島で被爆されたので原爆と戦争反対、憲法9条を守る活動はされてはおられたが、東日本大震災の福島原発事故が起こるまでは原発反対運動に力を注がれる程は関わられていなかったそうだ。福島原発事故が起こったあと福島へ講演に行かれた際、女子中学生が、「私は原発事故後も福島で暮らしているので将来どのくらいまで生きられるのか、結婚して子どもが産めるのか不安でしたが、那須さんは被爆されているのにこのお歳まで元気に生きられ御活躍されていることを知り、私は希望が出てきました」と話してくれたことを聞き、原発は若い人の身だけでなく心もむしばむのだと思い、それから脱原発運動に積極的に関わるようになり、上関原発を建てさせない山口県民連絡会共同代表も引き受けるようになったと言われた。

ズッコケ三人組シリーズの中に、瀬戸内海のある島が原発事故に遭い島に住む人達が穴を掘り地下に住むことが描かれており、それは原発事故いや原発そのものへの警鐘だと思った。那須さんは、原爆と原発は同じだと言われた。だから、原爆反対と原発反対を別個に考えるのではなく、脱核という観点で脱原爆、脱原発の運動をできるだけ一緒にしていく。そして、原爆を道具にしている戦争をなくす、戦争をしない国になることが大事であると言われ、戦争を放棄している憲法9条を守り続けていく必要があると言われた。

(ブログ「いのち・未来うべ」 2017年11月27日の記事から一部をコピーしました。)

